



○ 6年生修学旅行で感動体験の連続！

11月12日（木）～13日（金）の1泊2日の日程で、6年生の修学旅行を実施しました。当初の計画では東京方面への旅行でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、宮城県方面への旅行となりました。写真とともに主な内容を紹介します。

【第1日】青葉城址～八木山動物園・ベニーランド～キボッチャ

- 混雑を避け、朝一番に青葉城址に着きました。伊達政宗像の前で記念写真を撮りました。偶然、TV番組の取材でプロレスラーの藤波辰爾さんが来ていましたが、一番興奮していたのは担任の倫一先生かもしれません。（笑）



- 八木山動物園では、象やライオン、チンパンジーなど定番の動物を見るだけでなく、山羊に実際に触ってみるなどの体験をすることができました。



- 八木山ベニーランドでは、ジェットコースターや大きく揺れる海賊船、ゴーカートなどの乗り物を思う存分楽しみました。



- 東松島市のキボッチャは、東日本大震災で津波の被害を受け廃校となった小学校の校舎を活用し、防災訓練などの体験ができる宿泊施設です。1日目は「竹あかり」という竹製の灯籠を作りました。

【第2日】キボッチャでの体験学習～うみの杜水族館～稲田学園帰校

- キボッチャのある東松島市にはブルーインパルスの基地があり、快晴の空のもと訓練飛行が行われていました。ハートや丸を描く飛行は圧巻でした。
- 防災教育では、災害時に役立つほふく前進やロープの結び方、毛布等を使った担架で実際に人を運ぶ体験をしました。
- うみの杜水族館では、大きな水槽を泳ぐ様々な魚はもちろん、間近でペンギンを見たりイルカのショーを見たりして楽しみました。また、3,000円分のクーポンがもらえたこともあって、生徒たちはたくさんのお土産を買いました。思い出もお土産もたっぷりの2日間の旅でした。



○ 4・5年生宿泊学習～自然と協力と友情と～

11月10日（火）～11日（水）に、4・5年生は国立磐梯青少年交流の家での宿泊学習に行ってきました。大自然の中で友と協力し充実した2日間を送ることができました。

1日目は、野口英世記念館を見学し、その後交流の家でのオリエンテーリングで班ごとの絆を深めました。夕食後はキャンドルファイヤーをして、歌ったりゲームをしたりしました。



2日目は、森の木の実や枝などを使ったクラフト作り、その後、インディアカやキンボールなどのニュースポーツ、卓球などで汗をかきました。昼食の後、カワセミ水族館を見学し帰路につきました。帰校式では、代表児童から「自然に親しみ、仲間と協力しながら友情を高めることができた」という感想があったとおり、充実の2日間でした。



○後期学級委員・児童生徒会専門委員会役員任命式

11月20日（金）、5～9年生の児童生徒が参加して任命式を実施しました。後期児童生徒会各専門委員会役員と7～9年生の学級役員に任命状を授与しました。

新旧児童生徒会役員の引き継ぎも併せて実施し、9年生の旧児童生徒会長が8年生の新児童生徒会長に対して、激励と期待の言葉をかけました。9年生がつないだ稲田学園の伝統を、今後は8年生を中心とした児童生徒会がさらに発展させていってほしいと思います。



↑ 新役員の児童生徒

★ことばのちから(16)「今しかできない今を優先する」

新型コロナの第3の波が来たような状況になってきました。今思えば、9年生の修学旅行をはじめ、小学生の運動会や中学生の秋華祭、体験学習や宿泊学習、そして6年生の修学旅行と、延期してきた大切な行事を何とか実施できて本当によかったと思います。

実際に、「今しかできない」などと無理をしすぎてしまうと、人の命に関わる問題に至る危険もありますから、ピンポイントの今ではなく、多少の長さを持った今（その学年の間とか、何歳頃に）ということで「今」を大切にしてきました。

子どもにはそれぞれの年代で体験を通して乗り越えなければならない課題があり、学校や家庭は、子どもたちがその課題を乗り越えるのを見守る役目があります。コロナ禍であっても、子どもたちには「今、必要な経験や学び」に本気でぶつかってほしいと願うばかりです。